

## 珠洲市災害ボランティアバスを運行しました【報告】

7月26日(金)から27日(土)にかけて、令和6年能登半島地震で被災した石川県珠洲市へ災害ボランティアバスを運行し、町内からの10名を含め20名のボランティアが参加しました。

参加者にとって実際に被災地に赴き被災者宅で活動することは、今までどこか他人事のように感じていた災害を自分事として捉えることができる貴重な機会となりました。熱中症警戒アラートで被災者宅での活動が急遽中止となった時、参加者からは『被災者のためにもう少し活動できないか』という声があがり、被災者から「手伝っていただきごめんなさい」と言われた時も『困ったときはお互い様ですよ』とお伝えしていました。

今回の珠洲市災害ボランティアバスの運行をとおして、被災地で見て・感じた一人ひとりの想いをこれからの災害に強いまちづくりに生かしていきます。



### 【活動内容】

1件目(若山町) ボランティア8人

山間にある工房では、机・自転車・割れた窓ガラス・サッシなどの災害ゴミを分別、寺内の居住スペースでは、割れた食器などの撤去や屋内清掃を行い、仮置き場へ搬出を行う



2件目(若山町) ボランティア14人

金沢市に広域避難中の高齢者世帯宅で、住家の全壊判定に伴い、同敷地内の納屋へ利用できるタンスなど大型家具の運び出し、剥がれた壁材、割れたガラス、壊れた電化製品などの災害ゴミの仕分けや仮置き場へ搬出を行う



【行程】

7月26日(金)

12:30 出発式 古田笠松町長・森社協会長よりあいさつ

18:45 宿泊地(能登町)到着

7月27日(土)

8:30 宿泊地(能登町)出発

8:45 珠洲市災害ボランティアセンターに到着

受付・オリエンテーション後、2班に分かれて被災者宅でボランティア活動開始

14:30 熱中症警戒アラートのため予定より早期に活動終了

珠洲市災害ボランティアセンターへ戻り、活動報告

15:30 珠洲市災害ボランティアセンター出発

(珠洲市内の他被災状況を車窓から確認しながら帰途に着く)

21:55 笠松町へ帰着・解散

【参加者の感想(一部抜粋)】

- ・被災地でのボランティアに興味があったが、個人で参加することに不安を感じていました。このような機会をいただき、ボランティア活動ができたことに大変感謝しております。
- ・こんな歳でも何かのお役に立てればとの思いがある反面、逆にご迷惑をおかけするのではないかとの思いの方が増してたのですが、無事に帰ってこれました。私たちの町でいつ何が起こるかわからないこの世の中、人と人の繋がりは大切なんだと思いました。とても良い経験をさせていただきありがとうございました。
- ・思っていたよりも復旧が進んでいない現地を見て心が痛みました。
- ・現地の状況を肌で感じる事ができたことと、被災した方とお話できたことが大変有意義でしたし、貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。
- ・被災地の早期復興を願うとともに笠松町における災害対応にも今回の経験を活かしていきたい。

本活動は、赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」(ボラサポ)の助成金により活動しています

